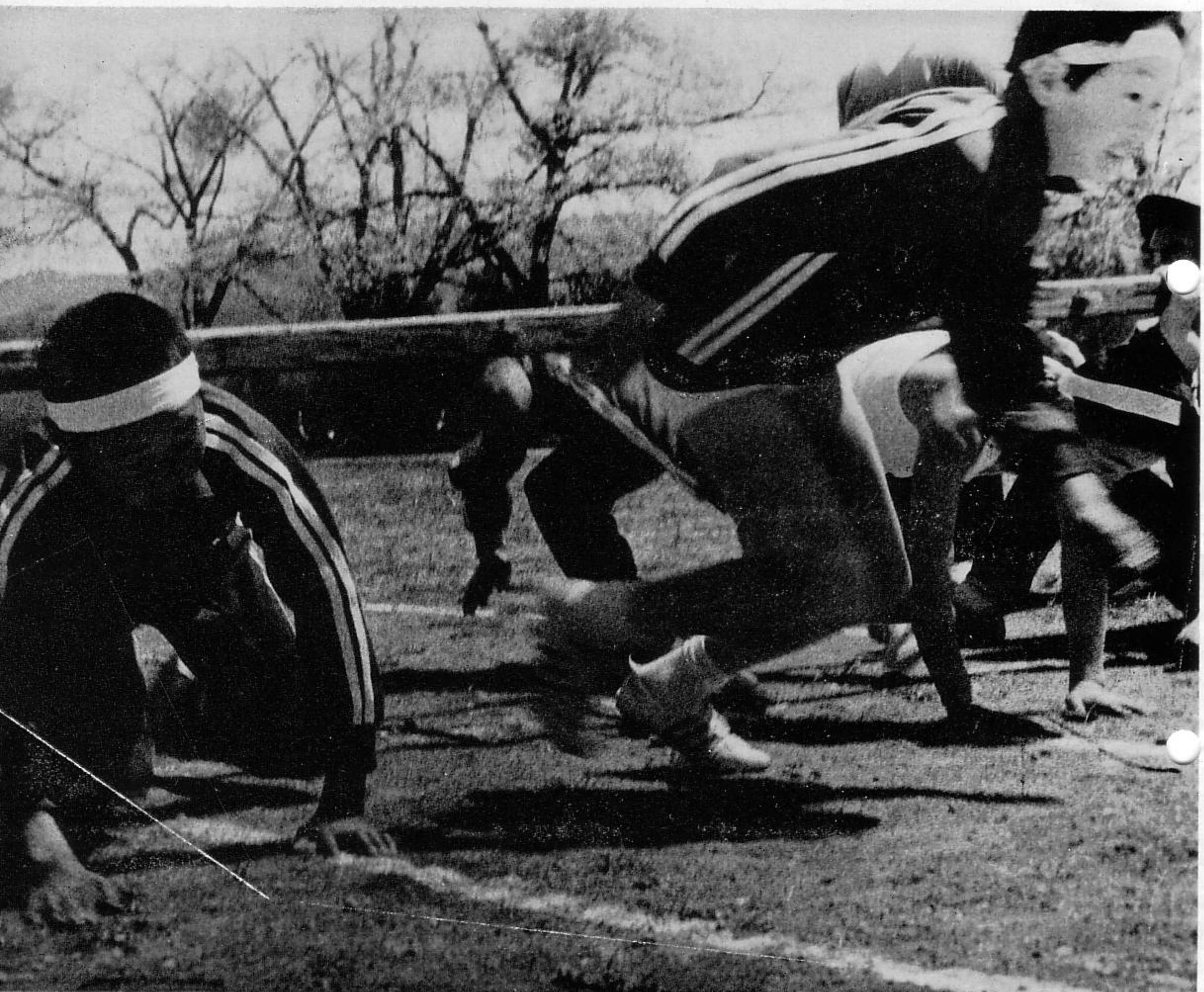


# 東由利町報



No. 235

51

6

## —<青空と緑と太陽と>—

風がおる5月は、子どもの季節でもあります。長い冬から解放され、思いっきり飛び回るときの太陽と空気はうまい。

運動会が予定されていた、今年のゴールデンウイークは、雨にたたかれてしましたが、それでも、各地区の小学校では雨の間をぬい、また、ゴールデンウイーク後に運動会が行われ子どもたちだけでなく、父兄や地区町民もいっしょになって、農繁期の一日を楽しく過ごしました。

運動会が終ると、東由利の大地はいよいよ躍動を始めます。

# 生活に密着した活発な要望

— 県側 積極対処を確約 —



副知事  
來、町

知事自らが、県内各市町村に赴き、市町村のかかっている問題について、直接、県民からの要望を聞いて、県政に反映させることをねらいとした「知事の市町村訪問」が今年も行われ、五月十日、佐々木副知事一行が本町を来訪しました。

一行は、副知事、県地方課長をはじめ、町政と密接な関係にある由利総務・同福祉・同農林の各事務所長・土木事務所次長、本荘保健所長・本荘農業改良普及所長・本荘高等職業訓練校長及所長・本荘高等職業訓練校長中央教育事務所由利出張所長ほか、関係職員で構成され、町側からは、町長・助役・収入役・各課長をはじめ、町議会議員・教育委員・農協役員・商工会役員・各団体長など三十名余りが出席し、予定時間を三十分延長し、二時間にわたって、活発な懇談が行われました。

佐々木副知事の、訪問の趣旨説明をかねたあいさつで始まった懇談は、統いて、高畠県地方課長からの、前回の訪問の際の要望事項の、措置状況についての報告がありました。

このあと、町長が、出かせぎ対策などの要望事項についての説明を行ない、県側からそれぞれについて、積極的に対処する旨の見解や回答がありました。

今回の要望事項は、前回までの要望事項と重複するものを、整理したため、要望項目は少なかったが、それだけの内容の濃いものになりました。

また、町側出席者は、誰もが自由に発言できるよう配慮され

生活に密着した活発な要望等が寄せられ、町政と県政との結びつきがより一層深まりました。  
過去の要望事項の措置状況報告、町側から出された要望と県側の回答の要旨は、次のとおり

## 過去の要望の措置状況報告

### ○黒沢線の河川改修について

砂防指定河川であり、来年度以降に行いたい。

### ○山村開発センター建設事業に対する県補助について

県でもかさあげして補助する。

### ○特用林産物流通改善対策事業に対する県補助について

シイタケ栽培が、今年度実施されることになつて、法

内地区、新町地区については

県でも助成してゆく。

○せんまいの栽培研究について

せんまいの人工栽培につい

ては、全国的にも例がなく、

県林業試験場に研究させてい

る。

4 / 30 部落長会議。部落組織は、集落自身の必要から自然に育った面と、行政の補助機能として求められる両面がある。

午後から、第二次農業構造改善事業の畜産部門についての協議会。

参加者は、県畜産課斎藤事務課長、小林補佐、本荘農業改良普及所の佐藤普及専門員、農協から、組合長、参事、農業課長、町から私と助役、産業課長、町から私と助役、産業課長。

郡内の肉牛の増加率は、本町がトップ。本町の地形上からみた放牧場、採草地について検討。

5 / 6 商工会の総会。あいにく欠かせない出張で収入役を代理出席させる。本町の商業・サービス業は百二十七店、工業と建設業は四十事業所。従業員数五百七十二人となつていて。

経済水準を高め、人口流出を留めるには、新たな認識で対応しなければならない。

5 / 10 副知事の町訪問。

いつも、なお、今後も存続すると思われるので、雇用の安定と援護対策を推進するとともに、当面、町の出かせぎ対策費への県支出金を増額されたい。なお、農作業休暇制度、季節社員

方針を説明し、理解を得る。

町長日記

制度の内容についても、承知したい。

答 出かせぎ対策費については、国、県、町が、それぞれ三分の一ずつ負担しているが、今の段階では、県費の大幅な増額は望めない。しかし、事業の対策経費の相互流用が困難なことなど硬直的なので、彈力的な運用ができるよう国へ要望してゆきたい。

農作業休暇制度については、県の第四次総合開発計画の中にもあり、農業従事者が、地元企業に就職した場合、農繁期に一定の休暇が与えられるようになり、社員としての安定した身分を保障していくとするものである。

また、季節社員制度については、出かせぎ者と雇用者が数か年の雇用契約を結び、安定した出かせぎ就労と身分を保障していくとするものである。

どちらの場合も、企業の協力がなければできない制度なので、現在調査をすすめている。

答 道路敷の確保には、地元土地所有者の協力が必要なの

で、十分に調査し、意にそいだ。

第四次総合開発計画の中で、コミュニティ、広域市町村圏、地方中核都市構想と、これに関連すると思われる内陸工業開発について承知したい。

なお、農業余剩労働力の他産業への転換についても承知したい。

答 計画の細部については、現

在検討中である。基本的には出かせぎをなくし、余剩労働力の県内消化ができるようにしていくものである。

国道一〇七号線は、全区間の中でも、本町内が最も

主要地方道神岡・坂部・横渡線の改良は、今年度で特種改良一種工事が終るの

で、明年度以降は、一般改良事業として継続される予定と聞いているが、大型の予算を願いたい。

答 主要地方道の場合、特殊改

## 出かせぎ就労者打合せ会

# 望まれる職安経由

## 健康診断も忘れずに

戦後最大と言われる不況の中

出かせぎ者の大部分が帰省した四月二十四日、「昭和五十一年度出かせぎ就労者打合せ会」が、本荘公共職業安定所長や県出かせぎ互助会の関係職員を迎え、朋楽荘を開会場に開かれました。この会は、その年の出かせぎを反省し、今後の対策を協議するため、毎年開かれているものです。

主要地方道の羽後・向田・館合線沿線が施行される予定であるので、同時に当該路線の改良整備を実施されたい。

出かせぎをしたくても、できな

い人があるのではないか、と心配されました。幸いにも、希望者は全員就労することができました。

本町の県営圃場整備事業は、昭和五十三年度までに主要地方道の羽後・向田・館合線沿線が施行される予定であるので、同時に当該路線の改良整備を実施されたい。

出かせぎの確保には、地元土

地所有者の協力が必要なの

整備が遅れているよう思われる。現在工事が進められているところも含めて、早期の整備を実施されたい。

答 館合バイパスは、五十二年度中に、舗装工事が完了する

ケ沢から蔵までの改良がネットになると思われるので、現場を調査のうえ、検討する。

予算に関しては、国に対しても強く要請してゆく。

答 東由利のよう、県都から離れているところに、こうして来町してくださることはありがたいことである。

こうした機会が多くあれば、町政と県政の結びつきが太くなりばかりでなく、町民一人一人の新しい町づくりに対する意欲をかきたてるものと思う。

阿部 剛さん（農協役員）

東由利のよう、県都から離れているところに、こうして来町してくださることはありがたいことである。

柴田 浩さん（農協役員）

副知事に就任して間もなく、わが町の現状を十分に認識していない（副知事さんのあいさつの中にもありました）が、せいか答弁に、きりとしたところがなく、残念に思うし、不満などころもあった。

雪国の春は短かく、桜梅桃李一斉に花を開く。それにしても、冷え冷えする気温が気になる。

良工事が終了したときは、二年改修工事が休止されるのが、これまでの例であったが

当該路線については、明年度以降も間をおくことなく、今年度にひきつき改修してゆく。

予算に関しては、国に対しても強く要請してゆく。

良工事が終了



問題解決の基調は、町の責任と部落の協力で

# 活発な町への要望

10町 税 連続完納 65全組合が達成

□□部落長會議□□

昭和五十一年度の部落長会議は、四月三十日朋楽荘を会場に開かれ、会議に先立ち町税十か年連続完納組合、優良納税貯蓄組合の表彰が行われました。町税十か年連続完納は昭和五十年度で全納税組合が達成したことになります。

会議では、町長が日頃からの町政への協力を対して、お礼を述べたあと、昭和五十一年度の町予算と事業計画を中心に町政の概要説明を行い、今後一層の協力を要請しました。

続いて、長沢町議會議長のあいさつがあり、そのあと、次のような各課からの連絡依頼事項等の説明と、部落長側からの町に対する活発な、意見や要望が寄せられました。

## ▼各課（機関）からの連絡事項

### △総務課▽

部落交付金について。部落長手当と部落運営費の二本立てにして交付する（ただし、従来どおりの部落交付金として交付希望のところは、これを合せて交付する）。

参議院秋田県選出議員補欠選挙について。

選挙について。

### △税務課▽

五十年度の町税納付状況について（全納税組合、年度内完納）。

五十年度の町税納付について。全組合とも納期内（一月末）完納を樹立されたい。

### △住民課▽

（口）有利な前納報奨金制度もあり、前納の際は印かんを持参されたい。

（ハ）納税通知書は確実に保管し、納税の際は必ず持参されたい。

（ニ）督促を受けないよう、自主納税に協力されたい。

納税組合補助金について。世帯割十五世帯以下500円十六～三十世帯800円三十一世帯以上1,000円について。

（ロ）有利な前納報奨金制度もあり、前納の際は印かんを持参されたい。

参議院秋田県選出議員補欠選挙は、去る五月二十三日投票が行われ、開票の結果、自由民主党公認の佐々木満氏が二十八万七千百八十七票を獲得し、当選しました。

本町の、過去における同選挙の投票率は六〇%前後と低く、その意識が問われていました。このたびの選挙においては、東由利町明るい選挙推進協議会や民間団体が中心になって、投票総参加運動を開催し、八〇・八〇%の投票率は、この運動が町民の中に深く浸透したものと

## 佐々木満氏当選

選挙は、去る五月二十三日投票が行われ、開票の結果、自由民主党公認の佐々木満氏が二十八万七千百八十七票を獲得し、当選しました。本町の投票率は、町内十三投票所のうち、第八投票所（高村）が最も高く九十五・〇%、逆に、第十三投票所（杉森）は、七十三・四〇%と最低でした。

投票結果は次のとおり。（内は、本町得票数。）

当選	佐々木満	自民新
二八七、一八七票	（一、七七六票）	（一、八五四票）
二一〇、二六二票	（一、八五四票）	（一、八五四票）
小林やすお	共産新	（二二四票）
八二、六一二票		

（二二四票）

八〇・八〇%の投票率は、全県でも第三位であり、この選挙においても、全町民が投票に参加するよう望まれます。

保健推進員の活動について（全町民を対象に、一二六名の推進員が活動しているので主旨理解のうえ、協力を）。

犬の放し飼いの禁止について（不用犬は、二か月毎に保健所が引き取りに来町、該当の場合は、衛生係に連絡）。

保健婦活動について（健康相談等の場合は、多数の参集

を）。

国民健康保険の特の返還について（出かせぎに持つていた保険証の返還）。

廃棄物の不法投棄の禁止について。

高額療養費について（自己負担分が七月から、三万九千円に）。

四月一日からの医療費改訂

（全町民を対象に、一二六名の推進員が活動しているので主旨理解のうえ、協力を）。

（口）バスク、農耕用トレーラー等を取得したら、すぐ標識（ナンバー）を。廃車届には、標識と印かんを。

（ロ）有利な前納報奨金制度もあり、前納の際は印かんを持参されたい。

高く評価されます。

また、不況下における出かせぎの雇用条件が不安定などなど、生活に直結した政治課題が、山積している時だけに、町民のこの選挙への関心は高かったようあります。

本町の投票率は、町内十三投票所のうち、第八投票所（

高村）が最も高く九十五・〇%、逆に、第十三投票所（

杉森）は、七十三・四〇%と最低でした。

投票結果は次のとおり。（内は、本町得票数。）

当選	佐々木満	自民新
二八七、一八七票	（一、七七六票）	（一、八五四票）
二一〇、二六二票	（一、八五四票）	（一、八五四票）
小林やすお	共産新	（二二四票）
八二、六一二票		

（二二四票）

八〇・八〇%の投票率は、全県でも第三位であり、この選挙においても、全町民が投票に参加するよう望まれます。

保健推進員の活動について（全町民を対象に、一二六名の推進員が活動しているので主旨理解のうえ、協力を）。

犬の放し飼いの禁止について（不用犬は、二か月毎に保健所が引き取りに来町、該当の場合は、衛生係に連絡）。

保健婦活動について（健康相談等の場合は、多数の参集

を）。

国民健康保険の特の返還について（出かせぎに持つていた保険証の返還）。

廃棄物の不法投棄の禁止について。

高額療養費について（自己負担分が七月から、三万九千円に）。

四月一日からの医療費改訂

(5)

- 東由利町議会第二回臨時会が  
五月十日に招集され、次の案件  
につき審議が行われ、全案件原  
案どうり可決されました。

  - 町立住吉小学校水泳プール  
建築工事請負契約について
  - 契約の目的 住吉小学校プー  
ル建築工事
  - 契約の方法 指名競争契約
  - 契約金額 二〇、二八〇千円
  - 契約の相手方

本荘市古雪町九五の一  
株式会社千葉工務店

住吉少ブル工事契約など4案件

臨時議會

## 会計補正予算について（専決 処分）

### 三 東由利町町税条例の一部を改正する条例制定について（専決処分）

○参議院秋田県選出議員補欠選挙に伴う、選挙費用の補正を行つたもの。



- ・ 国保葬祭費の増額支給について（五千円を一万円に）。
  - ・ 火災の防止について。
  - ・ 交通事故の防止について。

建設課

- 道路敷となつてゐる官有地の埋立てについて（許可を得なければできない）。

△ 產業經濟

- 水田総合利用対策事業について（食糧農産物の奨励）。雇用保険の事務指導について。

社会福祉協議会

- 上記の増強運動にて、  
協議事項  
役場通信の全戸配布について。

答  
い  
正

- 答 仙林はへいへい、御用でしてゆきたい。薬剤の効能について、容器に明示しておるし、交付時に口頭でも伝えている。

略 ▼

- △ 大谷地の草地の、蔵地区の返還について（契約満了）  
しているが、機会あるごとに話し合いの場を持ちたい。

七

- 答　そのようなことはない。  
▽　出かせぎ者への激励文は  
字体をかえて、読みやすく  
てほしい。

路

- ころが多くある。安全のためにガードレールを。

しているので、事業所等のある部落では、当該事業所と協議してほしい。

答 老方地区など 町全体の問題であり、直ちには結論を出しかねるが、調査し、検討を進めたい。地区住民の協力をもと頼り、おこなう。

△ 五十年度導入牛の導入資金はどうなっているか。

△ 除雪により 農地に砂利の除去に助成を。  
答 このことについては、町の責任と部落の協力で解消し。

▽ 農道の橋梁は、取り付け道路の部分に危険と思われるところが多くある。安全のためにガードレールを。

答 これらの場合、県の維持管理のものも多く、由利土木事務所と協議のうえ処理したい。

▼ 納税表彰

町税十か年連続完納組合 新沢優良納税貯蓄組合 蔵・下小路子・小野夏男・伊藤喜久治・小笠原豊和・阿部穰・畠山紀子・小笠原秋夫・遠藤キヨ子・浅田誠 (以上10名)

〔農協玉米支所前〕小松良一・小松当子・小松養治・高橋フミ子・佐藤好男・渡辺秀雄・小松清男・阿部茂・佐々木雅広・長谷山進・佐々木ミヤ子・小松恵美子・小松敏子 (以上13名)

〔役場前〕畠山清伸・小松タニ子・佐野拓和・長谷山政治・小野貞男・高橋賢太郎・小松ツサ子・守屋俊昭・武田恵子・佐藤ソノ・佐藤フミ・小松玲子・浅田サキ子・佐藤ミツ・遠藤喜栄子・畠山昇三・高橋政一・佐藤達男・福田千代子・森川イク・阿部弘章・小松勝・小松秀穂・佐藤ヨシ・小松長敬・鈴木千鶴子・阿曾文彦・畠山良一・嶽石文弥・柴田和尋・菊地ミキ子・太田勇一・宮塚昭三・小松三喜雄 (以上34名)

農業青年が、グループで現代農業に関する知識と技術を習得し、実践活動や話し合いを通して、農業の構造改善と農村の生活改善を推進することを目的にした、東由利町農業近代化ゼミナーの総会は、四月二十六日、公民館で開かれ、農業を志す仲間は、がつちりとスクランをくみました。

## 農業の技術と知識を高めよう

### 東由利町農近ゼミ総会

本町における農業近代化ゼミナール（農近ゼミ）の活動は、

一昨年の法内青年会農業経営部

の水稲、あるいは、昨年の住吉

農近ゼミの、いちごの無病苗の

生産出荷と栽培出荷などにも見

るよう、地区別には、農近ゼ

ミが誕生してきたものの、全町

的横つながりのかなめであ

る町農近ゼミは、有名無実の状

態にあり、その必要性が強くさ

けられていきました。こうした声

名の農業青年が集まり、規約の審議、昭和五十一年度の活動方針活動計画、予算などについて活発な意見の交換を行い、本ゼミナールの骨格を決定しました

### △活動方針

将来、農業の中核者となるべきためには、現代農業に関する知識と技術を習得しなければな



新しい農業をめざす若い仲間たち

当時は、鍬や鎌あるいは鉈を持ったおじいさんやおばあさんが、四十名ほど集まりました。おばあたちは、グランドの草とりと掃除を、おじいさんは、グランド周囲のガケの掃除と、仕事はそれぞれ分担して行されました。グランドは、自動車の走った後で、でこぼこであり、また、周囲のガケは、ゴミが捨てられたり、野球のボールやグローブ

なども、たくさんみつかり、これらは使えるものと使えないものに区別され集められました。おばあたちは、グランドの面積が広いため、半日では終えることができなく、昼には、克雪管理センターに弁当を持ちよって、めいめいに話しながらのしく昼休みをしたあと、午後からも、作業は続けて行われました。

「小学校としては使われなくなりました。

区のスポーツ大会は、毎年ここで行われている。孫たちのためにも、私たちでできることならば役立ちたい。あの桜の木は、この歴史をみんな知っている。その歴史を大切にしなくては……」と、グランドの端の、つぼみのふくらんだ桜の木を指して、会長の阿部さんは、語っていました。

同老人クラブでは、これまでにもこうした奉仕活動をつづけてきております。町内にある公共施設は、ともすると、役場で管理するもの、誰かが掃除するだろう、誰かが直すだろうといった気持ちで使われ、汚したり、傷つけられたりすることが往々あります。この老人たちを見習い、公共のものを、みんなで守る気運を高めてゆきたいものです。

り入れて、部会別に研修テーマを設定し、研修、活動をする。

△主な事業計画▽  
△町外先進地視察研修  
△収穫祭  
△研究発表会  
△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭

△研究発表会

△町内土壤調査

△農業簿記講習会

△収穫祭



